

財 政 報 告 書



平成30年6月1日

秋 田 県 横 手 市

1 収入及び支出の概況

平成29年度予算の執行状況（普通会計・3月31日現在）

※出納整理期間（4月1日～5月31日）の収入額と支出額が反映されていないため、最終的な決算額は異なります。

予算額 562億7,944万円

歳入

	収 入 済 額	収 入 率
合計	473億9,405万円	84.2%
市税	80億4,886万円	99.2%
地方消費税交付金	17億5,475万円	100.0%
地方交付税	216億1,332万円	100.0%
分担金・負担金	3億7,865万円	84.0%
使用料・手数料	5億7,379万円	95.9%
国庫支出金	53億6,535万円	81.0%
県支出金	30億4,913万円	59.6%
諸収入	22億9,451万円	96.5%
財産収入	2億2,614万円	196.4%
繰越金	17億6,380万円	100.0%
市債	10億3,510万円	17.8%
その他	12億9,065万円	66.9%

その他…交付金など

歳出

	支 出 済 額	執 行 率
合計	434億8,758万円	77.3%
総務費	60億2,491万円	81.1%
民生費	123億1,097万円	79.5%
衛生費	45億7,889万円	90.7%
労働費	1億2,677万円	92.5%
農林水産業費	36億 729万円	77.3%
商工費	16億7,311万円	78.2%
土木費	53億5,545万円	75.1%
教育費	24億1,094万円	86.4%
公債費	51億 664万円	77.9%
その他	22億9,261万円	46.8%

その他…議会費、消防費など

2. 市税収入および負担状況（3月31日現在）

市税は、市民の皆さんや企業などから納めていただいた税金であり、市の事業を行ううえで欠くことのできない貴重な財源となっています。

なお、入湯税は観光施設や消防施設の整備、観光振興事業などに充てる財源となっています。

税制 / 区別	収入済額	構成比
市民税	32億9,239万円	40.9%
固定資産税	38億1,710万円	47.4%
市たばこ税	5億7,684万円	7.2%
軽自動車税	2億9,776万円	3.7%
入湯税	6,474万円	0.8%
その他	3万円	0.0%
計	80億4,886万円	100.0%

市民1人あたり (3/31住基人口 91,022人)

税制 / 区別	収入済額	構成比
市民税	36,172円	40.9%
固定資産税	41,936円	47.4%
市たばこ税	6,338円	7.2%
軽自動車税	3,271円	3.7%
入湯税	711円	0.8%
その他	0円	0.0%
計	88,428円	100.0%

その他…都市計画税(滞納分)

3 公営事業の執行状況

企業会計とは、市などが行う公営企業会計のことで、水道、病院、ガス、電気など地方公営企業法の適用を受ける公営企業のうち、横手市では病院事業(横手病院と大森病院)、水道事業と下水道事業が対象となります。

病院事業

＜貸借対照表＞		(平成30年3月31日現在)	
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	61億8,487万円	固定負債	53億2,656万円
流動資産	49億5,735万円	流動負債	11億5,061万円
		繰延収益	5,726万円
		資本金	47億1,109万円
		剰余金	△1億 330万円
合計	111億4,222万円	合計	111億4,222万円

＜損益計算書＞				(平成29年4月1日から平成30年3月31日)	
費用		収益			
医療費用	74億5,363万円	医療収益	71億4,772万円		
医療外費用	9,301万円	医療外収益	5億9,986万円		
特別損失	174万円	特別利益	3万円		
当期純利益	1億9,923万円				
合計	77億4,761万円	合計	77億4,761万円		

水道事業

＜貸借対照表＞		(平成30年3月31日現在)	
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	232億9,495万円	固定負債	119億 229万円
流動資産	27億7,431万円	流動負債	13億5,524万円
		繰延収益	46億7,314万円
		資本金	75億9,859万円
		剰余金	5億4,000万円
合計	260億6,926万円	合計	260億6,926万円

＜損益計算書＞				(平成29年4月1日から30年3月31日)	
費用		収益			
営業費用	16億2,745万円	営業収益	16億6,504万円		
営業外費用	2億7,435万円	営業外収益	2億7,683万円		
当期純利益	4,007万円				
合計	19億4,187万円	合計	19億4,187万円		

下水道事業

＜貸借対照表＞		(平成30年3月31日現在)	
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	292億4,497万円	固定負債	141億5,862万円
流動資産	12億3,814万円	流動負債	18億8,905万円
		繰延収益	94億7,757万円
		資本金	46億5,280万円
		剰余金	3億507万円
合計	304億8,311万円	合計	304億8,311万円

＜損益計算書＞				(平成29年4月1日から30年3月31日)	
費用		収益			
営業費用	13億4,533万円	営業収益	6億5,543万円		
営業外費用	2億9,692万円	営業外収益	10億5,281万円		
当期純利益	6,599万円				
合計	17億824万円	合計	17億824万円		

4 財産、公債及び一時借入金の現在高

家庭での自動車ローンや住宅ローンなどのように、市でも事業に必要な資金が不足した場合には、借り入れをして不足分をまかなうことがあります。

このうち、施設や道路などの建設、災害復旧などに充てられ、年度をこえて返済するものが地方債です。

一会計年度内で、現金の不足分を補うために借り入れるお金が一時借入金です。

地方債現在高（普通会計分：平成30年3月31日現在）

市が行う大規模な建設事業などの資金として借り入れるもので、利子とともに年度をこえて返済しています。

地方債の名称	金額
総務債	51億2,352万円
民生債	16億 547万円
衛生債	73億9,236万円
農林水産業債	40億9,225万円
土木債	96億2,829万円
公営住宅債	11億3,066万円
消防債	16億1,090万円
教育債	100億6,203万円
臨時財政対策債※	204億6,179万円
その他	14億5,794万円
合計	625億6,521万円

その他…商工債・災害復旧債など

※臨時財政対策債とは、国から地方自治体に交付する地方交付税の財源が不足した場合に、その穴埋めとして地方自治体に地方債を発行させる制度です。ただし、返済に要する費用は後年度の地方交付税で措置されます。

市民1人あたり 687,364円 （3/31住基人口 91,022人）

一時借入金現在高

年度内に不足した現金を補うための借入金です。

借入限度額	80億円
借入現在高	0円

市有財産の現在高（平成30年3月31日現在）

土地	67,682,197.89㎡
建物	625,260.13㎡

5 特別会計の執行状況

※出納整理期間（4月 1日～5月31日）の収入額と支出額が反映されていないため、最終的な決算額は異なります。

会 計 別	予 算 額	
	収 入 額	収入率
	支 出 額	執行率
国民健康保険特別会計	131億9,282万円	
	114億5,684万円	86. 8%
	107億8,778万円	81. 8%
介護保険特別会計	121億 33万円	
	102億 447万円	84. 3%
	108億6,255万円	89. 8%
市営温泉施設特別会計	7億2,768万円	
	5億4,162万円	74. 4%
	5億8,772万円	80. 8%
集落排水事業特別会計	4億5,725万円	
	4億6,129万円	100. 9%
	3億9,346万円	86. 0%
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	5,639万円	
	7,494万円	132. 9%
	2,956万円	52. 4%
市営介護サービス事業特別会計	11億5,915万円	
	9億5,042万円	82. 0%
	10億3,817万円	89. 6%
後期高齢者医療特別会計	9億8,874万円	
	9億7,170万円	98. 3%
	9億6,595万円	97. 7%
財産区特別会計	1,683万円	
	2,560万円	152. 1%
	982万円	58. 3%

特別会計は、特定の歳入歳出を普通会計の歳入歳出と区別して処理するための会計です。